

ほしとらライブラリー

星置東小学校開放図書館運営委員会
令和7年3月5日

やわらかな3月の日差しの中で、少しずつ雪どけもすすんでいます。本格的な春の訪れが待ち遠しいですね。卒業、進級をひかえ、今年度をふりかえることも多いことでしょう。この1年皆さんはさまざまな本を読みましたね。調べることも上手になりました。成長してゆく皆さんの姿に胸がいっぱいになります。

卒業おめでとう！

6年生の皆さんに向けて先生方が、本の思い出や、読んでほしい本を紹介していただきました。

6年1組

片山 真実 先生

「きっと明日はいい日になる」

田口 久人 著

と一ってもネガティブな私。嬉しいこと、楽しいことがあっても、些細なことを気にして、落ち込んでしまうことが多いです。ある日、【読むだけで 前向きになれる】という太字のキャッチコピーに惹かれ、手に取ったこの本。筆者がInstagramでつぶやいたことが大反響となり、そのつぶやきをまとめて書籍化した本です。Instagramでつぶやかれたものとあって、短く、とって読みやすいです。家族、夢、人間関係、生き方…様々なテーマで綴られた言葉に、背中を押され、ちょっとは前向きになれ…た!?気がしています。これを読んで、みんなの明日も、きっといい日に！！

6年2組

巳野 真和 先生

「タマゴマンは中学生」

坂本 勤 作

私が中学生の頃に母から紹介された「タマゴマンは中学生」という本です。中学生になったタマゴマンは、日常の出来事を通して様々な考え方を学んでいきます。「タマゴマンは中学生 入学編」の「考えるということ」では、夢の中で仙人から、考えるとはどういうことかを教わります。私はこの本を読んで、自分や周りのために大切にしたいことを見付けることができました。これから中学生になるみなさんに、ぜひ読んでもらいたい一冊です。

6年3組

三浦 颯斗 先生

「心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣」

長谷部 誠 著

「心を整える。」サッカー日本代表キャプテンとして、ワールドカップに3大会出場した長谷部誠選手。日本代表だけでなく、ドイツのプロサッカーリーグでも2008年から2024年まで活躍しました。特段スピードがあるわけではない。圧倒的なテクニックもフィジカルもあるわけではない。そんな彼が40歳まで世界最高峰のリーグで戦うことができた秘密がこの本に詰まっています。読書が苦手な私も、中学校2年生の時に購入し、何度も読み続けてきました。スポーツに限らず、勉強、日常生活、様々な場面に通ずる「心」。興味がある人はぜひ手に取ってみてください。

6年4組

町村 康武 先生

「夢をかなえるゾウ」

水野 敬也 著

4月から環境が大きく変わる6年生の子どもたちに、このタイミングだからこそ読んでほしい本です。「夢中になれることが見付からない。何を頑張ればいいのか分からない。」という時に読んでみてください。少しだけ気持ちが楽になったり、今の自分を肯定的に見ることができたりするかもしれません。一気に読破するもよし。1日に一つずつストーリーを読み進めるもよし。読書が苦手な人にもおすすめです。

ほほえみ学級

中島 春香 先生

「鹿の王」

上橋 菜穂子 作

私が皆さんにお勧めする本は、上橋菜穂子さんの「鹿の王」です。私は、コロナ禍にこの本と出会いました。ファンタジーであるこの話は、謎の感染症の正体を追求するミステリーにもなっています。「感染症」に立ち向かう人々、感染症の謎を解き明かそうと立ち上がる医師など、私たちの世界とリンクする場面がたくさんありながらも、別世界の出来事。この本を読んで、ファンタジーの面白さを実感した一冊です。皆さんも、ファンタジーの世界に没入したい時にぜひ、読んでみてください。



先生方、お忙しい中あたたかいメッセージをありがとうございました。

卒業しても「ほしぞらライブラリー」へ

卒業のお祝いに、装飾班のボランティアさんがしおりと封筒を手作りしてくださいました。担任の先生から受け取ってください。本とともに心豊かな人生を！



中学生になる君たちへ ライブラリーのこれ読んで！

卒業をひかえた6年生が、より身近な場所でいろいろなジャンルの本を手にとれるよう、令和4年度から始まった企画です。日本や海外の名作や詩、哲学、社会科学、自然科学、美術などの本を、6年生とほぼえみ学級のワークスペースにお届けしました。3回の配本で、200冊以上の本を届けることができました！



ボランティア手作り講習会（レジン）&茶話会

2月26日、ボランティア研修会として、手作り講習会が行われました。装飾班のリーダー大久保さん、遊佐さんのお二人に教えていただきながら、レジンですてきな小物を完成させることができました。講習会のあとは、お茶をいただきながら親睦を深め、和やかな時間を過ごしました。



令和6年度もボランティアさん大活躍でした！
来年度のボランティアは4月に募集します！
一緒にいかがですか？



令和6年度 開放図書館利用状況



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	3	13	12	11	1	12	11	11	11	7	10	3	105
貸出冊数	227	1150	958	2367	3	788	1034	698	2198	493	894	0	10850
貸出人数(児童)	114	696	463	786	0	409	573	349	694	262	384	0	4748
貸出人数(大人)	12	36	31	41	2	31	39	25	34	17	35	0	386

そうだ！新聞を読もう！



この企画に参加、提出してくれた児童の作品を展示しています。新聞を読んで気になった記事を切り取り、選んだ理由、感想、調べたことを書いてくれました。政治、自然、福祉などに向けた子どもの視点がすばらしく、丁寧に作成されていました。ご参加ありがとうございます！

おはなしの会

耳をすませて楽しむ「おはなしの会」

2/18 (火)「クナウとひばり」(アイヌの昔話) 実施済
3/5 (水)「王子さまの耳はロバの耳」(ポルトガルの昔話)

放課後ミニ児おはなし会

2/5 (水)「はらぺこあおむし英語版」 和田さん
大型絵本「よかったねネッドくん」 後藤さん 実施済
2/25 (火)「ものすごくおおきなプリンのおかげ」永山さん
「はるよこい」 早苗さん 実施済
3/5 (水)「じごくのそうべえ」 綿谷さん
「はしれ はるのゆきうさぎ」 葛西さん

耳をすませて楽しめた？

令和2年度から始めたお昼の放送のおはなし会。今年度も、日本や外国のおはなしを届けることができました。子どもたちは、言葉を聞き、想像の翼を広げていたことでしょう。おはなしを聞いたあとは、ライブラリーに本を探しに来る子、「おはなしをしてくれて、ありがとう」と、うれしい言葉をかけてくれる子など、ボランティアさんは、子どもの姿に励まされています。

人から人へ語り継がれてきた昔話は言葉が磨かれ、心にしみていく力があります。おはなしの灯が子どもたちの心にとり続けますように！



「ほしぞらライブラリー」は来年度に向けて準備に入りますが、環境を整え、4月から皆さんをお待ちしています。

1年間のご協力ありがとうございました。新学期にまた、お会いしましょう！